

# 契 約 変 更 理 由 書

神戸市

| 工 事 名  | 房王寺雨水幹線移設工事（その２） |
|--|------------------|
| <p>契約変更後の工事概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管きょ工（開削工法） 内径 1,200mm×1,400mm L=30.00m<br/>内径 1,200mm×1,200mm L=21.76m</li> <li>・ 取付管工 １式</li> <li>・ 矩形渠用マンホール工 １式</li> <li>・ 付帯工 １式</li> <li>・ 仮設工 １式</li> </ul>   |                  |
| <p>契約変更の理由</p> <p>本工事は、房王寺線街路事業による道路縦断変更に伴い、房王寺雨水幹線の移設を行うものであるが、以下の理由により契約変更が生じる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管きょ工（開削工法） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初設計では、発生土（掘削土）については流用土として埋戻土に使用する事となっていたが、土質試験を行った結果、“泥土 a”に分類され不適となり、購入土での埋戻しが必要となったため、管路土工が増工となった。また、このことにより、残土処分（発生土）が必要となったが、搬出予定先で土質試験を行った結果、砒素について基準値を上回っている事から、搬出が不可能となった。それにより受入可能な処分地で残土処分をする必要があるため、管路土工が増工となった。</li> </ul> </li> <li>2. 付帯工 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舗装復旧範囲について、道路管理者と立会した結果、道路管理者の指示により、当初設計から大幅に範囲が増えたため、舗装復旧工が増工となった。</li> </ul> </li> <li>3. 仮設工 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本工事は交通量の多いバス路線かつ、神戸電鉄の高架下での施工であり、警察や神戸電鉄等との協議による配置人員の増員（第１回変更）を行ったが、地元住民からの苦情が相次いだ事から、再度協議を実施した結果、交通誘導警備員及び列車監視員がさらに増員となった。</li> </ul> </li> <li>4. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地精査の結果、数量及び工種に増減が生じる。</li> </ul> </li> </ol> |                  |